



ニラ (ユリ科ネギ属)

春(3、4月)に種まきし、育苗して、6、7月に植え付け、翌年の春〜秋に収穫します。乾燥する場所以外はどんな土地にも育ち、半日陰でも大丈夫です。

【品種】「ミラクルグリーンベルト」(武蔵野種苗園)は鮮緑色で葉幅が広く、肉質は柔らかい品種。「タフボーイ」(八江農芸)は耐寒・耐暑性があり、刈り取り後の再生力の高い品種です。

【育苗】1平方m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます。幅70cm程度の苗床を作り、条間15cm、1cm間隔にすじまきします(図1)。発芽後、密生した所を間引き、草丈25cm程度まで育てます。

【畑の準備】植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを全面にまいて、よく耕しておきます。植え付け溝は畝幅60〜70cmとし、深さ20cm、幅15cmに掘り下げます。元肥は植え溝1m当たり化成肥料50g程度、堆肥1kgを施し、土を掛けておきます(図2)。

【植え付け】苗

図2 畑の準備

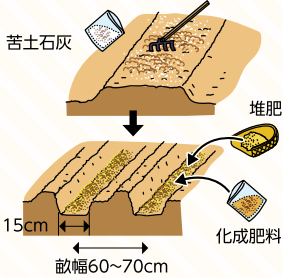


図1 育苗



は根を傷めずに掘り取り、株間20〜25cm間隔で1カ所3、4本をまとめて植え付けます(図3)。

【追肥・中耕・とう摘み】植え付けの年は9、10月に月1回追肥をします。1回の追肥量は畝1m当たり化成肥料30g程度とし、この際に中耕を行います(図4)。2年目以降は春先と、収穫後に同量を与えます。なお、植え付けの2年目以降は夏になると、とう立ちするため早めに蕾(つぼみ)を摘み取ります。

【病害虫防除】新芽に付きやすいアブラムシには「粘着くん液剤」「ベニカ水溶剤」などの登録農薬で防除します。

【収穫】翌年4月から10月にかけて収穫できます。草丈35cm程度に伸びた頃、地上5cm程度の部分で刈り取り収穫をします(図5)。1年に3、4回収穫できます。

【株の更新】3、4年は同じ畑で栽培できますが、密生し葉幅が狭くなってきたら、春に株を更新します。株を掘り取り、分割して3芽ずつまとめて植え直します(図6)。

図3 植え付け



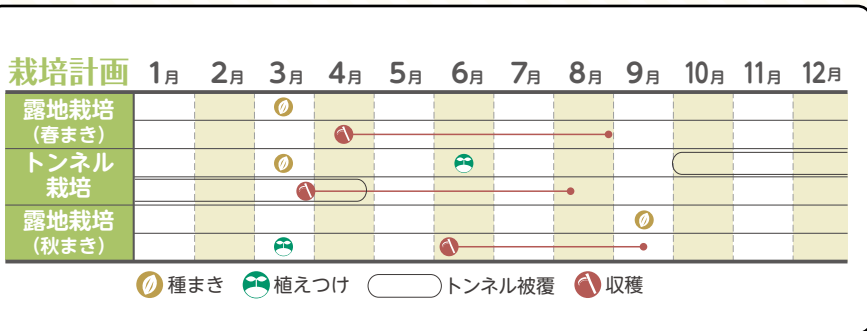
図4 追肥



図5 収穫



図6 株の更新



JAグリーン津店が栽培のポイントを教えます!



JAグリーン津店
グリーンアドバイザー認定
城博一

ニラは今年植え付けても株を大きくするため来年までは収穫せず、2年目・3年目としつかりと収穫するためにも1年目は準備期間と思って育てましょう。そして、3年ごとに株分けして植え替えると長期間収穫を楽しむことができます。またプランターでも栽培は可能です。

「土寄せ」

苗の活着後、土寄せをして植え溝を平らな状態に戻します。一度深く土寄せをすると初期育成が緩慢になるため、生育に合わせて、成長点(分岐しているところ)が埋まらないように2〜3回に分けて行います。

「収穫」

最初は捨て刈りといって、春の時点で伸びている分の葉を刈り取ります。すると切り株からイキイキとした若い葉がぐんぐん伸びてくるので、草丈30cmになったら刈り取ります。来年もまた同じ株で栽培を続けるのであれば、収穫は9月に切り上げて、しっかりと肥えをあげておけば、来年もたくさん収穫できます。